



ほんものを たべよう

提出日	3/	火	水	木	金
	27	28	29	30	
配達日	4/	火	水	木	金
	3	4	5	6	
翌々週分配達日	4/	火	水	木	金
	10	11	12	13	

2018.4月1号

Alter Weekly Order Catalogue

オルターの提案

本場に安全な食べものを手渡すために

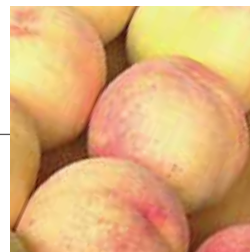
- 「だれが・どこで・どのようにつくったか」の情報を日本一公開します。
- 「国産」「無農薬」にこだわり、日本の伝統食を守ります。
- 原料段階・飼育段階からポストハーベスト農薬、遺伝子組み換え、放射能汚染、トランス脂肪酸、食品添加物などを徹底的に追放します。
- プラスチック容器・レトルト食品を追放します。

ネオニコチノイド系農薬の追放を完了した オルターの農作物を食べよう!

ハチだけでなく、ヒトにも悪影響のネオニコ。

文責 西川 榮郎

(NPO 安全な食べものネットワーク オルター 代表)



オルターでのネオニコチノイド系農薬追放

オルターでは2016年の第17回会員集会で報告した通り、2015年度中にオルターカタログ上で取り扱う、米、野菜、果物など全ての農作物から、ハチが大量死する原因とされるネオニコチノイド系農薬(以下ネオニコ)の追放を完了しています。オルターではもともと果物を除いて、無農薬が基本でしたから、低農薬栽培の果物からの追放が主な取り組みでした。

ネオニコを追放するといっても、毒性がさらに強い有機リン系農薬に戻るのでは意味がありませんので、そのことにも留意しました。

現在オルターでは、さらに加工品の原料段階でもネオニコの使用が隠れていないかをチェックし、その追放を続けています。とくに「国産」レベルの原料に課題が残っている可能性があるからです。オルターのアンケート調査において117社から原料農産物、調味料の原料などの使用「0」との回答を得て(内容は確認中)、不明と回答したものについて調査を続行しています。

ネオニコチノイド系農薬とは

ネオニコとは1990年代、有機リン系農薬の後継農薬として使用が始まった農薬です。オルターでは以下のクロロニコチル系殺虫剤の総称として、ネオニコと位置づけています。

ネオニコチノイド系…アセタミプリド(モスピラン)、イミダクロプリド(アドマイヤー)、クロチアニジン(ダントツ)、ジノテフラン(スタークル)、チアクロプリド(バリアード、カリブソ)、チアメトキサム(アクタラ)、ニテンピラム(ベストガード)

フェニルピラゾール系…フィプロニル(プリンス)、エチプロロール(キラップ)

その他…フロロカミド(ウララ)

「減農薬」に注意

ネオニコは神経毒性の強い有機リン系農薬に代わって使われるようになった農薬で、現在国内で使用される農薬の使用量第3位、全農薬使用量の13%を超えて使われています。

その特徴としては「浸透性」農薬であり、農作物の内部に浸透して、茎、葉、根など植物のあらゆる組織に現れ、殺虫効果を発揮します。そのため、洗っても落ちません。

残効性が長いことから農薬の散布回数を減らせ、「減農薬」と謳えるため、手間のかからない「夢の農薬」として、良心的な農家までもが騙されて使われています。

ハチが死ぬとヒトが死ぬ

ところが、このネオニコによってミツバチが大量死する「蜂群崩壊症候群」がアメリカで問題となり、世界中がその毒性に気づきました。2007年春までに北半球の1/4のハチがいなくなったともいわれています。フランス、イタリア、ドイツ、イギリス、アメリカなどですでにその規制の動きが始まっています。EUは2013年12月「ネオニコ2種とヒト神経発達障害の関連」を公式発表し、クロチアニジン、イミダクロプリド、チアメトキサムの種子処理を暫定的に禁止しました。

かのシュバイツァー博士は「もしハチがいなくなったら、人類は数年後に絶滅する」と警告しています。なぜならハチは植物の交配に活躍する生き物で、ハチが消えることはヒトが食べものを失うことになるからです。

深刻な環境への影響

ネオニコが殺すのはカメムシなどの害虫やハチだけではなくありません。トンボ、チョウなどあらゆる昆虫を殺します。水溶性のため、水系全体への悪影響も深刻です。

ブドウが特に深刻

ネオニコは、日本国内ではブドウ、梨、リンゴ、モモ、イチゴなどの果物や、野菜、米、緑茶など農作物全体に広範囲で使用されています。たいへん緩い基準があるものの、事実上野放し状態です。また、家庭用殺虫剤、白アリ防除や壁紙、ペット用農薬(ノミ取り)にまで使われています。

指先の震えは神経毒の影響

青山内科小児科医院、青山美子医師や、東京女子医大講師 平久美子医師は、国内でいち早くネオニコによるヒトへの健康被害を報告しています。わずか500gのブドウ一房でネオニコ中毒症状が現れたといいます。多動などの神経障害、心電図異常、短期の記憶障害、筋肉痛、腰痛、頭痛、肩こり、不眠、悪寒、めまい、全身脱力、胎児への影響など多様です。

青山医師は中毒症患者に指先が震えていない方はいないと報告しています。それは神経毒を摂取していることが原因だと指摘されています。

ネオニコチノイド系農薬は発達障害の主要原因

元東京都神経科学総合研究所 参事研究員だった脳神経科学者の黒田 洋一郎先生は、ネオニコなどの農薬が発達障害の原因だと指摘されています。今日本人の15人に1人はその発達障害になっています。

ネオニコは末梢神経や自律神経などにあるアセチルコリン受容体に結合して、その働きを阻害する仕組みの農薬です。ターゲットの昆虫の神経系だけでなく、神経の基本構造が同じヒトに影響があるのは当たり前のことです。

ハチが死なないネオニコチノイド系農薬

ミツバチが死ぬことが問題となっているネオニコの中には、ハチが死なないアセタミプリド(モスピラン)があります。

ここ数年、ハチミツからこのアセタミプリドが相次いで検出され、国はハチミツに対して緩い基準値を設けました。西洋ミツバチの飛翔距離は巣箱から4 kmあるとされ、その範囲にある水田、畑などから、ネオニコを巣箱に持ち帰るのです。かくして、ほぼ国内全てのハチミツが現在ネオニコ汚染を受けていると考えられます。

オルターではハチミツはネオニコフリーのものを扱っています。

オルター加工品における ネオニコチノイド系農薬追放

オルターからのネオニコ追放の要請に応え、光食品では、以前使っていた岐阜の酒造メーカーの酢を、有機原料の酢、庄内酢のものに変更しました。岐阜のメーカーの酢の原料に長野県の農協の米が使われています。長野県の農協ではネオニコを認めており、その混入を排除できないためです。

オルターのアイスキャンデーの原料に使うみかん果汁について、無茶々園はネオニコフリーのみかんに限定しています。無茶々園では温州みかんの生産者の一部に、まだネオニコが排除できないケースが残っていますが、オルター向けには分別をして、出荷しないようにしていただいています。

いずれにしても、加工品におけるネオニコ追放のポイントは、単なる「国産」ではなく、原料の農作物の「無農薬化」がテーマです。かつてポストハーベスト農薬追放が緊急なテーマだった頃、「国産」レベルに一定の意味がありました。しかし、浸透性農薬ネオニコ追放のためには、より精密なチェックの目線が必要となっています。また、消費者にとっては、そのコスト負担を理解することも求められています。

ネオニコ追放のためには、生産者と消費者の協力が必要とされます。